

藤岡市



議会だより

◆発行日 平成19年8月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 有限会社大石印刷

◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第39号

正・副議長決まる

5月臨時会において正・副議長が決まりました。



副議長
茂木 光雄



議長
隅田川徳一

就任に

あたって

市民の皆様にご挨拶を申し上げます。
市政の推進につきまして、日頃より市民の皆様方の深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、平成19年第2回藤岡市議会臨時会におきまして議員各位のご推挙により私も議長・副議長の一員として就任することになり、その重責と使命の重大さを痛

感している次第でございます。

少子高齢化が進む中、また、地方分権化、行財政改革等課題が山積しております。市民の皆様と共に住みよい藤岡市にするため、皆様の声を公平公正に反映させ、わかりやすく市民の皆様に伝えられる議会を目指したいと考えております。
なにとぞ、市民の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。

6月定例会のあらまし

定例会は、6月13日から6月22日まで10日間の会期で開催されました。
藤岡市市営住宅設置条例の一部改正についてなど10議案、議員提出議案1件が提出されました。

◇13日〓本会議、会期の決定。

市長提出議案9件を即決。

◇14日〓経済建設常任委員会、教務厚生常任委員会。

◇19日〓本会議 一般質問。

◇22日〓本会議 市長提出追加議案1件、議員提出議案1件を即決。



鬼石夏まつり (7月14・16日)



総務常任委員会(8名)

◎委員長
○副委員長

齊藤千枝子
(左より)

松本啓太郎

片山喜博

青木貴俊

◎湯井

○岩崎

反町

神田

廣志

和則

清

省明

所管

企画部、総務部、鬼石総合支所（総務課）、会計課、選挙管理委員会、公平委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項



経済建設常任委員会(8名)

◎委員長
○副委員長

阿野行男
(左より)

青柳正敏

木村喜徳

窪田行隆

◎堀口

○渡辺

針谷

久保

昌宏

徳治

賢一

信夫

所管

経済部、都市建設部、上下水道部、鬼石総合支所（産業建設課）及び農業委員会に関する事項

教務厚生常任委員会(8名)

◎委員長
○副委員長

茂木 佐藤 冬木 松村
(左より) 光雄 淳 一俊 晋之

◎山田 〇渡辺
吉田 達哉 山田 朱美 渡辺 新一郎 隅田川 徳一



所 管

市民環境部、健康福祉部（福祉事務所）、鬼石総合支所（住民サービス課及び保健福祉課）、藤岡市国民健康保険鬼石病院及び教育委員会に関する事項

議会運営委員会(8名)

◎委員長
○副委員長

湯井 佐藤 冬木 渡辺
(左より) 廣志 淳 一俊 徳治

◎齊藤 〇青木
吉田 達哉 齊藤 千枝子 青木 貴俊 反町 清



一般質問

職員の意識改革

について

山田 朱美

問 地方公務員法によれば「職員は全体の奉仕者であり、その職の信用を傷つけ職全体の不名誉となるような行為をしてはならない」と定義されている。市職員は全体の奉仕者として行政サービスの向上に向けてどのような

に取り組んでいるのか。職員の服務規程の整備について伺いたい。

答 地方公務員は住民の信託を受けた全体の奉仕者として市民と行政の協働によるまち作りを推進し、効率的な行政運営により市民サービスの向上、充実を図っている。服務規程の整備の予定はないが、職員の不祥事に対しては綱紀保持を周知しており、職員の資

質や能力の向上のため職員研修を充実していきたい。

市職員不祥事の

防止策と処分について

問 突然の新聞報道により、「鬼石病院事務長のセクハラ」が表面化した。12月の忘年会の席でセクハラ行為が行われたとの報告があった。男女雇用機会均等法の趣旨が全く理解されていない。職員としてのモラルの問題もあるが、任命した執行部にも問題があったのではないか。

答 通報のあった時点でセクハラと認識した。被害者保護等メンタル面も考慮し、4名の被害者及び加害者から事情聴取をした。

問 審査会のメンバーは副市長を委員長とした内部職員だけでは公平性に欠けると思う。外部の人を入れる考えはないか。また、懲戒処分の見直しを考えているのか伺いたい。

答 処分については人事院の指針を準用している。今後民間の学識経験者を含めた組織の見直しを検討している。

ていきたい。懲戒処分の見直しの原案は作成されており、公表基準の制定も含め早急に対応したい。

問 前事務局長は現在どのような職場で働いているのか。職員全体の信頼も傷つけたことになる。考えるが、再発防止にどのような対策を講じていくのか伺いたい。

答 都市建設部公共施設管理事務所に勤務している。公正性、妥当性及び透明性を有した懲戒処分の基準を早期に策定し、職員の一層の意識改革に努めたい。

職員倫理・昇格・人事・

給与・配置について

湯井 廣志

問 地方公務員法では、「すべての職員は全体の奉仕者として公共の利益の為に勤務すること。また、その職の信用を傷つけ、または、職全体の不名誉となる様な行為をしてはならない」と規定されています。当市では昨年12月にセクハラ事件が発生しました。本来な

ら部下にセクハラを指導すべき幹部職員が自らセクハラをしていた。このことについて市長はどのように責任を感じているのか。また職員が職員を裁く委員会を開催しても適切な判断ができるわけがないと考える。今後は市民や弁護士など第三者を含め、職員倫理条例を制定し、適切な処分が行なえる様にしていく考えはないか伺います。

答 職員全体の不名誉と

公共工事について

問 5月に小野小学校のプール工事が発注されたが、これでは完成が8月末となり、小野小学校

の児童は自校のプールに入れない。なぜ、児童のために4月早々に発注しなかったのか伺います。

答 今後この様な工事を実施する場合、児童の学校生活を最優先に考え、工事計画や発注時期等を検討致します。

問 当市は平成14年に課長が入札価格を業者に教えて逮捕され、懲戒免職となりました。そこでこの様なことが二度と起こらないよう、入札前

に価格を発表する事前公表として来た。そのことを忘れ、また元の入札後に価格を発表する事後公表となっている。落札率も100%と事前公表ではあり得ない率となっています。なぜ今になって再度事後公表としたのか伺いたい。

答 当面試行的に実施し、今後の方針を決定したい。

藤岡市指定ゴミ袋

について

吉田 達哉

問 最近ゴミ袋が切れやすいため、素材の見直しをして欲しいと思うが考えを伺いたい。

答 本年7月1日以降に製作されますゴミ袋については、水酸化カルシウムを除くことで柔軟性が増し、若干裂けにくくなると考えられます。

問 ゴミ袋の原料である原油が値上がりしております。藤岡市では、値上げの話は出ておりませんが、今後これ以上原油高が続けば、値上げしなくてはならないと思いますが、市の考えを伺いたい。

答 他の自治体では値上げしている所もあるが、素材の見直しや、包装外袋を小さくする事や、業者と協議を重ね価格の安定に努めます。

英語圏の姉妹都市

について

問 藤岡市では、中学生がカナダのリジャイナ市とホームステイの事業

をしています。他に英語圏との姉妹都市や交流が活発にできたらいと思っていますが市の考えを伺います。

答 英語を通じた異文化交流の体験をしながら国際感覚を身につけることは、国際化社会の中で大変重要な事と考えます。

問 市長の国際交流と

情報通信基盤の整備

について

岩崎 和則

問 基本的な考え方、方向性について伺いたい。

答 民間による整備を基本とし、高速通信網（光ファイバー網やADSL網）の普及を目指す。今年10月には、旧藤岡市において高速通信網の利用が100%可能となる。旧鬼石町のエリアへも展開できるように計画中である。藤岡市全体の高速通信網の整備を推進する。

問 住民が求めているのは光通信網の整備だと思うが、日野地区、坂原地区はどう対処して行くのか伺いたい。

取り組みに対しての考え方を伺いたい。

答 英語圏の交流は重要であると認識しており、藤岡市として、どういった都市が良いのか早急に検討していきたいと考えています。



答 都市部と山間部において大きな格差が生じることは望ましくない。今後は坂原局と日野局については、民間事業者と公共の合同事業等も視野にいれ、利用率の向上などの施策を加え整備を推進して行く。

携帯電話、パソコンによるメール配信について

問 同報系の防災行政無線のない当市での緊急メール配信は様々な効果が期待でき、至急の導入を望むが、現在の状況について伺いたい。

答 関係課と現状・情報の確認や方向性を検討してきたが、災害・防犯情報等の発信の有効性を鑑み、全庁的な取り組みが必要である。庁内関係課及び関係団

体と連携をとりながら、検討委員会を立ち上げ、検討していく。

問 子どもたちの安全の確保を考えると、誰もが安心・安全に暮らせる社会の実現は時代の要請であり、時代にあったシステムの必要性、また関係機関と連携しながら情報活用が啓発が必要ではないかと思うが伺いたい。

答 メール配信につい

企業誘致について

茂木 光雄

問 藤岡市企業誘致促進条例及び施行規則について伺います。

答 この条例は本市に企業を誘致することにより、産業の振興及び雇用機会の拡大を図り、もって経済の発展及び市民生活の向上に寄与することを目的としています。藤岡市企業誘致促進条例第3条第2項で指針を定め、道路、水路、通信等の環境整備支援、土地の情報提供、用地取得のあっせん等を行う事業用地確保支援、就職面接会の開催等

て、現状での学校の意向を確認したところ、配信を考えている学校や検討中の学校もあり、関心が高まっている。メールは緊急事態の連絡に間に合うのか、すべての保護者が登録してくれるのか、端末機（携帯電話等）の利用率や利用形態など課題の解決を図りながら、保護者は誰でも利活用ができるよう、システムの理解と活用の啓発を進める必要があると考える。

の人材確保支援を行っています。また第3条優遇措置では事業所設置・雇用促進・緑地設置の奨励金など本市に企業が進出しやすくなるようPRに努めています。

問 工業専用地域・準工業地域の現状と今後の見通しについて伺います。

答 市の土地開発公社が現在工業団地として森新田の北部工業団地に平成22年に4・2ヘクタール、平成23年に3・9ヘクタールの分譲ができるよう準備を進めています。また準工業地域指定の見直しは平成21年度になる予定です。

住民税増税について

渡辺 徳治

問 住民税が昨年は、所得が増えていないのに、老年者控除廃止とか公的年金控除縮小のため増税になり、計算の間違いいではないのかなどの問い合わせが市の窓口に押しかけたと聞いています。今年も税源移譲と定率減税廃止、また税率改定で累進課税が壊され税率が一率に10%になった。これでは貧困と格差を広げるばかりではありませんか。

答 国による地方分権、三位一体改革の一環として、国から地方への税源移譲ということで、法律改正によりおこなわれるものがあります。



後期高齢者医療保険制度の狙いと問題点について

問題点第1は、す

べての75歳以上の高齢者が保険料を求められ「年金から天引き」で保険料を徴収される事になり、新たな負担増になります。第2は、今まで75歳以上の高齢者は、保険料を滞納しても保険証を取り上げてはならないとされてきたが、今回の制度では、滞納者は保険証を取り上げられる事になっています。第3は、後期高齢者の数が増え、医療給付費が増えるのに応じて、自動的に保険料が引き上げられる仕組みになっています。第4は、後期高齢者はじめ住民の意思が反映できる仕組みとして不十分なものになっています。第5は、後期高齢者は、受けられる医療を制限する方向を打ちだしています。こうした問題点について、市の見解を質問します。

答 後期高齢者医療制度の規定については、高齢者

の医療の確保に関する法律に基づき定められています。が、詳細を定めた政省令はまだ国より示されています。今後、国が示す詳細を見極めると共に、加入市町村、広域連合とも十分協議し、検討して参りたいと考えています。



固定資産税の納期について

斉藤 千枝子

問 当市の固定資産税の納期は地方税法とは異なり、条例で5・7・9・11月となっている。納期回数を増やすことにより、1回の納付額が少なくなり納めやすくなるが、回数を増やすことはできないか伺います。

答 納期は市税の他の税目と重複しないよう配慮して定めたものであるため、

ご理解をお願いします。現在、行財政改革に取り組んでおります。徹底した経費の削減を行うと共に市民サービスの低下することのないよう目指しております。早期の収納により効率的で安定した財政運営を図っております。

介護保険について

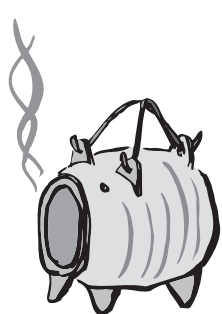
問 超高齢社会を控え、昨年4月に制度が予防重視型に転換した。高齢者が元気に暮らせるよう支援や環境を整えていくことが大切である。ミニデイサービス、筋力トレーニング、介護予防サポーター確保について伺います。

答 ミニデイサービスは現在52地区で実施。年間23カ所増やしていきたく。筋力トレーニングは35地区で883人が登録。藤岡地域は未実施地区が多く、新規の開講を促進しております。区長・広報等と呼びかけ、教室が立ち上がるよう支援していきたい。筋力トレーニングの効果については、ひざの痛みがな

くなった、つまりくことが少なくなった等実証されており。実施区域を増やしていくためにもサポーターの増員が必要と考えており、関係団体等の協力を得ながら養成を進めていきたい。

問 グループホームの入居費が高く負担が重い。年金収入が少ない方に対策を考えられないか伺います。

答 年金収入が少ない人は家族の支えが必要になります。市独自の補助制度を創設することは財政力から難しい状況です。市としては、介護予防に取り組む、健康なお年寄りが家族と地域に支えられ、生き生きと暮らせるよう努力を重ねていくことが重要なことと考えております。



児童・生徒への

医療費助成について

窪田 行隆

問 国の医療制度改革によって、来年度より乳幼児医療費の市の負担が2800万円ほど軽減されます。この財源を児童・生徒への医療費助成の拡充にも使うべきと考えるが伺います。

答 市の福祉医療費制度は乳幼児・児童・生徒、重度心身障害者、母子・父子家庭にも医療費の一部を助成しています。平成18年度の実績を見ますと、重度心身障害者、高齢重度障害者や母子家庭について増加しており、福祉医療費全体では乳幼児の負担減以上に増加も見込まれます。

問 少子化対策、子育て支援は急務です。所得制限の引き上げ、対象学年の引き上げも段階的に拡充していく考えがあるか伺います。

答 少子化・子育て支援対策は急務であると承知しています。所得制限また対象学年の引き上げ等につ

いては、今後の財政状況等を踏まえて考えていきたい。



選挙事務について

佐藤 淳

問 藤岡市は、過去の選挙事務において、開票作業、その他選挙事務が問題なく順調に行なわれてきたという認識をお持ちでしょうか伺います。

答 問題があったと認識しております。選挙の開票事務につきましても大いに改善する余地があると考えております。

問 開票に時間が、かかりすぎるとの市民から指摘がありますが、県知事選挙では1時間以内でできると思いますが、このことについて伺います。

答 知事選挙につきましても、1時間を目標にしっかりとやっていきたい、そ

のような目標を設定させています。

問 当選告知書受領者選任届を提出しなければ、立候補を認めないのは、選挙管理委員会が、公職選挙法違反だと思いますがこのことについて伺います。

答 選挙管理委員会の職員が、このような説明をしたことは、大変申しわけないと思っております。

スポーツ施設について

冬木 一俊

問 市有施設の利用率向上について、伺いたい。

答 野球場、サッカー場、陸上競技場等があり、利用率の良い施設、悪い施設もあり、利用率の向上について、いろいろな観点から考えていきたい。

問 市有施設の修繕・改修を計画的に行う考えがないのか伺いたい。

答 当分の間は今のまましていきたいと考えております。

問 庚申山運動公園な

ど、芝生の管理業務は5月の連休前後ではなく、もう少し早い時期にできないのか伺いたい。

答 指定管理者制度や債務負担行為をとれば解消される。今、検討しております。

行政運営について

問 インター周辺開発について藤岡市は、群馬県のことと協議をして、基本構想はいつごろ発表されるのか伺いたい。

答 検討委員会は、県庁本課1名、西部県民局4名、藤岡市6名で構成され、平成20年度までに報告書を知事と市長に提出する予定であります。

問 総合運動公園周辺には、三名湖、矢場池、総合運動公園、清掃センター、霊園があるが、この土地の開発はどうされるのか伺いたい。

答 都市計画の公園としては、完了していると認識している。また、雇用の創設、人口の増加、税収の増等のプラス効果を踏まえ、工業団地の計画案が提案さ

れています。

問 面積と地権者数を伺いたい。

答 面積は20・3ヘクタール、地権者は70名であります。

問 現在どこで、どのような協議をしているのか伺いたい。

答 工業団地計画の整備手法は、現在、県の企業局に県施工を要望をしている段階です。

問 三名湖は農業用水のため池であるが、藤岡市として一番工業団地として適切な土地であるということではないのか、市長に伺います。

答 合併して、ある意味で鬼石町との中間地点にもなり、大変工業団地としては適切であると思っています。

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録をご覧ください。

議 案 等 審 議 結 果 (5月臨時会)		
番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 3 号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
報告 4 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市税条例の一部改正）	承認（全員一致）
報告 5 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市都市計画税条例の一部改正）	承認（多数）
報告 6 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市国民健康保険税条例の一部改正）	承認（多数）
報告 7 号	専決処分の承認を求めることについて（平成18年度藤岡市一般会計補正予算第 5 号）	承認（多数）
報告 8 号	専決処分の承認を求めることについて（平成18年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算第 3 号）	承認（多数）
報告 9 号	専決処分の承認を求めることについて（平成18年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算第 4 号）	承認（多数）
報告 10 号	専決処分の承認を求めることについて（平成18年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算第 3 号）	承認（多数）
選挙、選任		
第 2 号	議長の選挙	当選
第 3 号	副議長の選挙	当選
	常任委員会委員の選任	選任
	議会運営委員会委員の選任	選任
第 4 号	多野藤岡医療事務市町村組合議会議員の選挙	当選
第 5 号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合議会議員の選挙	当選
第 6 号	藤岡市・高崎市ガス企業団議会議員の選挙	当選
第 7 号	群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	当選
議 案 等 審 議 結 果 (6月定例会)		
番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 11 号	平成18年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告 12 号	平成18年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告 13 号	平成18年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告 14 号	平成18年度藤岡市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告 15 号	平成18年度藤岡市水道事業会計予算の繰越について	報告
諮問 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし（全員一致）
第 57 号	藤岡市等公平委員会委員の選任について	同意（全員一致）
第 58 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員一致）
第 59 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員一致）
第 60 号	藤岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（多数）
第 61 号	藤岡市市営住宅設置条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 62 号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可決（全員一致）
第 63 号	財産の取得について	可決（全員一致）
第 64 号	市道路線の廃止について	可決（全員一致）
第 65 号	市道路線の認定について	可決（全員一致）
第 66 号	監査委員の選任について	同意（全員一致）
議員提出議案		
第 7 号	森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書の提出について	可決（多数）
請 願		
第 3 号	「最低賃金の改善を求める意見書」提出についての請願	不採択（少数）
第 4 号	後期高齢者医療保険制度の大幅見直しを求める請願	不採択（少数）
陳 情		
第 4 号	森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める陳情書	採択（多数）
選 挙		
第 8 号	藤岡市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	当選

4月に統一地方選挙、7月に知事選、参議院議員選と一連の選挙も終わりました。今議会は4月の市議選後最初の定例会となり、24名の議員が新たな気持ちで臨み、新生藤岡市の更なる発展と住民福祉向上を目指して、議会も本格的にスタートしました。さて、6月の定例会では、市民の負託に応えるべく活発な議論を展開し、一般質問も10名の議員が執行部の基本姿勢を正し、22日無事閉会することができました。市民の皆様から「議会だより」を共に、魅力ある、読みやすい「議会だより」を目指してまいります。市民皆様からの意見もお待ちしております。

委員長	青 齊
副委員長	藤 木
委員	湯 渡
委員	冬 佐
委員	反 吉
委員	千 枝子
委員	貴 徳
委員	廣 一
委員	治 志
委員	俊 淳
委員	清 哉
委員	田 達
委員	町 達

編集後記

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局
(☎ 22) 1211内線2361) へ